

平成 2 4 年度第 1 0 回理事会議事概要

日 時： 平成 2 5 年 2 月 2 7 日（水） 1 5 : 3 0 ~ 1 6 : 0 0

場 所： 特別会議室

出席者： 理事長 鈴木 和夫

理事（企画・総務担当） 城土 裕

理事（研究担当） 大河内 勇

理事（育種事業・森林バイオ担当） 井上 達也

理事（森林業務担当） 青木 庸三

理事（業務承継円滑化・適正化担当） 森下 眞行

監事 滑志田 隆

監事 西田 篤實

総括審議役 森田 一行

総括審議役 安藤 伸博

審議役 渡邊 聡

企画部長 落合 博貴

総務部長 藤江 達之

１．開会

２．議事

本日の議題は、報告が２件となっており、次第に従って報告いただくこととしたい。

（１）平成２５年４月研究職員及び一般職員新規採用者の内定について

（企画部長）＜資料 - １を説明＞

平成２５年４月１日付採用予定の研究職員については、森林遺伝研究領域、加工技術研究領域、野生動物研究領域、関西支所、林木育種センター森林バイオ研究センター、林木育種センター海外協力部でそれぞれ１名、計６名の公募を行ったところ、３０名の応募があり、書類審査、面接を経て６名の採用を内定した。

なお、テニユア・トラック制の研究職員の公募については、３月４日に締切、３月８日に書類審査、３月１３日に面接を行い、採用することで進めている。

（渡邊審議役）

林木育種センターでは、大卒程度の研究をサポートする用務に就く一般職員２名を採用する予定で公募を行ったところ、４名の応募があり、書類審査、面接を経て２名の採用を内定している。１名は３月に大学卒業見込み、もう１名は修士課程修了見込みの者となっている。

（総務部長）

本所で、高卒程度の一般職員若干名の採用について公募を行ったところ、４名の応募があり、うち２名は応募後に辞退し、２名について面接を実施した結果、採用を内定した。男女１名ずつとなっている。

また、電気の専門を持つ一般職員について１名の採用で公募を行ったところ、適格者１名の応募があり、筆記試験、面接試験を経て採用を内定した。

（理事長）

本件報告については理事会として了承された。

（２）平成２４年度評価・監査中央セミナーの概要報告

（滑志田監事）＜資料 - １を説明＞

本セミナーは、独立行政法人の評価、監査担当者を対象とした研修会であり、2月21、22日に総務省主催で開催され、森林総研からは9名参加した。

セミナーでは、7つの講演があり、評価に際しては経済性、効率性、有効性の観点から実施すること、内部統制は目標達成に向けて各プロセスごとの有効性を評価するところから始めなければならない、監査当局の業務は、まず説得力のある報告書を作成すること、次に改善を要する要素があるとすれば、その原因を除去するための提言、さらにフォローアップという手順で適切に行うことが必要であるとのことであった。

（理事長）

最後の講演の「江戸時代における監査の取組み」は、どのような内容であったのか。

（西田監事）

講演をした童門氏は、作家であるが元東京都庁の職員で、上杉鷹山の研究家でもあり、鷹山の米沢藩財政改革の例を元にして改革に取り組む姿勢についての講演であった。

（理事長）

本件報告については理事会として了承された。

次回の平成24年度第11回理事会は3月28日（木）に開催予定となった。

3．閉会